

SUPERBIKE

EXtra, EXpert and EXtreme EXPRESS--

MFJ Superbike Round2 SUZUKA 2&4 RACE 17-18 April 2010

JSB1000/J-GP2

波乱の予選

レースは独走劇か?

2010 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦

SUZUKA 2&4 RACE

秋吉耕佑 ポールポジション

QUALIFYING PRACTICE

OFFICIAL RESULTS REPORT & INTERVIEW



Photo by Y.Harada/H.Wakita(c)

全セッションをリードした秋吉耕佑の一人旅か!? 阻止したいディフェンディングチャンプ中須賀克行 まさかのアクシデントに見舞われた伊藤真一



QUALIFYING PRACTICE RESULT, REPORT&INTERVIEW

全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦は、2年振りにフォーミュラ・ニッポンとの併催で行われ、伝統の鈴鹿2&4レースとして開催されている。

土曜日に行われた公式予選は、路面の変化と強風が吹く難しいコンディションとなった。4輪は路面にラバー(ゴム片)が乗り、走れば走るほどグリップが増すが、タイヤとの相性なのか2輪の場合は、グリップが悪くなるようだ。さらにフォーミュラ・ニッポンのスキッドプレートは木製で、アスファルトの間におがくずのように入り込み、それに拍車をかけるという。

コースレコードを持ち、事前テストでも2分7秒台を連発、今回も優勝候補の最右翼に挙げられるのが秋吉耕佑だ。ノックアウト方式で行われた公式予選でもQ1、Q2、Q3とすべてのセッションでトップタイムをマークしポールポジションを獲得した。自身の持つコースレコードには、路面コンディションの違いなどもあり届かなかったが、ただ一人、2分7秒台をマークする速さを見せた。

「マシン、タイヤともに毎セッションセットを変えながらの予選でしたから本気でタイムアタックせずにフィーリングを探りながら走りました。最初はソフト、最後にハードタイヤを履いたけれど、それぞれいい部分があった。今回のコンディションの中ではベストは尽くせたとと思う」と秋吉。全力のアタックはしていないというのが、このタイム。昨年の2&4レースでも独走優勝しているだけに、今回もレースをリードしそうだ。

この秋吉をただ一人、追えそうなのがV2チャンピオンの中須賀克行だ。中須賀は開幕前のテストで転倒し右肩を痛めていたが、ようやく普通にマシンが操れるようになってきたという。

「開幕戦はスタートで横を向いてしまったので、今回は普通にスタートを決めて14周を走りきりたいですね。それがトップならば最高です」と中須賀。

一方、トップ争いに加わりと見られた2人をアクシデントが襲った。Q1セッションが始まった直後、その時点でリーダーボードのトップにつけていた亀谷長純がヘアピンで転倒。直後を走っていた中須賀は避けたものの、その後方につけていた伊藤真一が亀谷と接触し転倒してしまう。亀谷は全身打撲を負うもののレースへは出場できそうだが、伊藤は右肩甲骨を骨折してしまいグリッドに並ぶには厳しい状況だという。この2人は、Q2セッションを走っていないため、

亀谷が23番手、伊藤が24番手となり、共に8列目からのスタートとなる。

開幕戦ウイナー高橋巧はQ3セッションでダンロップコーナーで転倒するもののケガはなく3番手グリッドにつけた。「鈴鹿は難しいですね。筑波で痛めたケガは、よくなっていますので頑張るしかありません」と高橋。

カワサキのエース柳川明は「事前テストと全くフィーリングが変わってしまっていて気持ちよく乗れていない。決勝朝のウォームアップでセットを変えて最後まであがくよ」とコメント。

トップ争いは、秋吉と中須賀の一騎打ちとなりそうな気配が濃厚だ。セカンドグループには高橋巧、8列目からスタートする亀谷も満身創痍となるが、早い段階で順位を上げてくるだろう。出口修、武田雄一も加わり、4台がセカンドグループを形成しそうだ。

J-GP2クラスのトップタイムは、やはり小西良輝がマークし、4列目11番手グリッドからスタートする。

日曜日は晴れとなり、レースウイークで最も暖かい18度まで最高気温が上がる予報だ。開幕戦は予想以上に下がった気温に翻弄されてしまった秋吉だが、今回は、そのリベンジを果たしたいところ。ここ数年、鈴鹿で高い勝率を誇っている秋吉が一人旅となるか!? それとも中須賀がディフェンディングチャンピオン意地を見せるか??

JSB1000クラスのスタートは11:55!!

[佐藤 寿宏]



※1中須賀克行がセカンドグリッドを得た



Pole Position 秋吉 耕佑 2'07.656

「マシンは、戻るところは残しつつも、毎セッションセッティングをかえている状態なのでまだまだ詰める部分がありますね。タイヤはいいですし、予選の状況の中ではベストを尽くせたと。レースは2分7秒台の真ん中ぐらいで走りたければ、様々な要素が絡んでくると思うので、様子を見ながらいきたいですね」



Pole Position 小西 良輝 2'13.122

「開幕戦を終えて見えたことはありましたが、まだまだJ-GP2クラスの可能性はある。事前テストからいい感じで走れているけれど、思うようにタイムアップはできなかった。結果的にQ3に進めただけれど、伊藤選手と亀谷選手が走っていないことに助けられているだけ。決勝では具体的な数字ではなく一つでも上を狙っていきたい」

- 予選:天候/曇 路面/ドライ 出走45台
- 決勝スタート/11:55(14周)

Pos No.	Name	Team	BestTime
1	64 秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	2'07.656
2	1 中須賀 克行	YSP Racing Team with TRC	2'08.078
3	634 高橋 巧	MUSASHI RT ハルク・プロ	2'09.355
4	87 柳川 明	TEAM GREEN	2'09.581
5	48 出口 修	PLOT PANTHERA	2'09.943
6	54 武田 雄一	TAIRA Racing	2'10.215
7	18 浜口 俊之	クラウン警備保障RACING	2'12.006
8	32 新庄 雅浩	MotoMap SUPPLY	2'12.495
9	52 森井 威綱	Honda鈴鹿レーシングチーム	2'12.513
10	51 高橋 英倫	BEEET RACING	2'12.742
★	11 73 小西 良輝	MUSASHI RT ハルク・プロ	2'13.122
12	15 須見 義行	チームスガイレレーシングジャパン	2'13.760
以上Q3にて決定:			
13	16 東村 伊佐三	RS-ITOH&ASIA	2'14.241
★	14 91 山口 辰也	モリワキクラブ	2'14.534
15	23 高橋 孝臣	MOTO BUM HONDA	2'14.745
16	777 谷 誠士郎	PURI・PURI-R&BMS	2'14.940
17	81 北川 浩二	クラウン警備保障RACING	2'14.988
18	83 中村 知雅	中村Eng&ジャーナルプランニング	2'15.290
19	26 武石 伸也	TRICK☆STAR RACING	2'15.340
20	77 稲垣 誠	Team 橋本組	2'15.766
★	21 41 宇井 陽一	41PLAN/PRO-TEC	2'16.268
★	22 55 生形 秀之	エスパルスドリームレーシング	2'17.258
23	6 亀谷 長純	Honda DREAM RT 桜井ホンダ	出走せず
24	33 伊藤 真一	KeihinKoharaR.T.	出走せず
以上Q2にて決定:			
以下Q1にて決定:			
25	25 原田 洋孝	R.S.ガレージハラダ姫路	2'16.974
26	20 吉田 光弘	Honda緑園会熊本レーシング	2'17.200
27	63 松井 秀樹	鈴鹿コミュニティレーシングチーム	2'17.203
28	27 久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	2'17.221
★	29 93 高橋 江紀	バーニングブラッドRT	2'17.599
30	99 吉田 和憲	icu&ジュームラジャパン.c RT	2'17.928
31	221 深見 貴広	クラブールレーシング	2'18.030
32	62 澤村 元章	磐田レーシングファミリー	2'18.756
33	88 藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING	2'18.794
34	65 今津 比呂志	プラスワン MCRT	2'19.484
★	53 鈴木 慎吾	MOTO WIN RACING	2'20.029
36	57 西中 綱	HondaDREAMRT和歌山	2'20.132
37	61 柳生 和男	チーム・エッチングファクトリー	2'20.206
★	38 705 黒川 武彦	松本クリニックVIPスピード	2'20.457
39	50 樋口 幸博	T・モトキッズ	2'20.682
以上予選通過車両:			
40	67 和多瀬 邦治	DOG FISH☆オーテック鈴鹿	2'21.432
41	49 吉田 剛規	club RAIJO	2'21.753
42	314 三木 卓宏	Jr's Club	2'21.782
★	43 79 朝比奈 正	アサヒレーシング	2'22.194
44	58 山崎 芳雄	SRミニマム&コロバズⅢ	2'22.619
45	37 喜多田 学	TS関東+(有)成田総合サービス	2'26.216
予選通過基準タイム(110%) 2'21.060			
※★はJ-GP2クラス			



J-GP2クラスは、今回も小西良輝がトップ、2分13秒1で11番手スタート

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

08:00 - 08:30	JSB1000ウォームアップ走行
08:45 - 09:15	Formula Nipponフリー走行
09:50 - F3決勝レース(17周)	
10:45 - 11:15	ピットウォーク
11:40 - JSB1000	コースイン〜選手紹介
11:55 - JSB1000/J-GP2決勝レース(14Laps)	
13:45 - Formula Nippon決勝レース(37Laps)	
15:50 - CIVIC決勝レース(12Laps)	
17:00 - サーキットクルージング(2輪体験走行)	